

# 漁況予報 いわし

## 第 1 4 2 号

2007年 7～8 月漁期  
(2007年7月11日発行)

### ＝ 概況 ＝

#### 【まいわし】

主要定置網におけるマイワシ総漁獲量は、5月が128トン、6月が14トン（速報値）で、前年同期（5月：34トン、6月：11トン）と比較すると特に5月に漁獲量が増加しました。月ベースで100トンを越えたのは2005年10月以来のことです。しかし、6月には急減し、漁獲増は一時的なものでした。

魚体は、体長15～16cm前後の中羽マイワシ（2006年級・1歳魚）が主体で、大羽マイワシの漁獲はほとんどありませんでした。また、6月中旬頃から、11～12cmのヒラゴ（2007年級・0歳魚）が多く混じるようになりました。

佐島地区のまき網は、5月に餌イワシ（カタクチイワシ）とともにヒラゴを漁獲しましたが、鮮魚となる中羽サイズ以上の漁獲はありませんでした。

春シラス漁におけるマシラスの漁獲量は例年より多く、それが成長したヒラゴも順調に漁獲されていることから、今後年内一杯まで小羽・中羽マイワシとして漁獲されることが期待されます。

#### 【かたくちいわし】

主要定置網におけるカタクチイワシ総漁獲量は、5月が552トン、6月が707トン（速報値）で、前年同期（5月：483トン、6月：649トン）を若干上回りました。例年は3月頃からカタクチイワシの漁獲量が急増する傾向にありましたが、今年は約1ヶ月半ほど遅れて4月下旬頃から急増しました。

佐島地区のまき網は、5月、6月と断続的に餌イワシとして漁獲しました。

魚体は、11～12cmの小型～大型成魚が主体でしたが、9cm未満の未成魚も混じることがありました。

#### 【しらす】

4月までは例年を大きく上回る漁獲量で推移しましたが、5月～6月は例年並みの漁獲量にとどまりました。平塚・茅ヶ崎等の湾奥部では、5月から漁獲量がやや減少しました。江の島以東は6月中旬ごろまで安定した漁模様で推移しましたが、それ以降は漁獲量が減少しています。

5月～6月に実施した湾中央部の沖曳調査ではシラスの分布が確認されており、湾内のカタクチイワシの卵分布量も多いことから、今後徐々に沿岸部に漁場が形成されるものと思われます。

### ＝ 予報 ＝

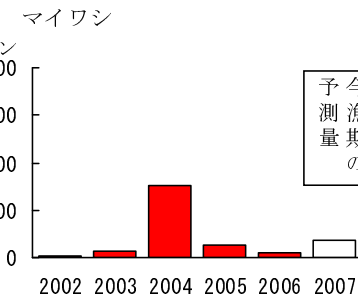
#### まいわし

今漁期は、今年生まれの小・中羽マイワシ主体にヒラゴが若干混じるでしょう。

3～6月のシラス漁におけるマシラス（マイワシの仔魚）の漁獲量から、今漁期の漁獲量は、定置網を主体に約187トンと予測されます。

\* 縦軸：主要定置網+まき網

過去5年の5・6月漁期の漁獲量と今漁期の予測量



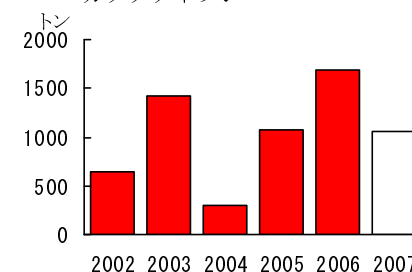
#### かたくちいわし

今漁期は、小型成魚及び大型成魚が漁獲の主体となるでしょう。

5月～6月の県内主要定置網における漁獲量から、今漁期の漁獲量は約1,063トンと予測されます。

\* 縦軸：主要定置網+まき網

カタクチイワシ



#### しらす

今漁期は、5～6月に相模湾で生まれたカタクチシラスが漁獲の主体となります。

当センターが実施した5、6月のカタクチイワシの卵分布調査結果から、今漁期の漁獲量は、約119トンと予測されます。

シラス

